



「きらりと光るまちの人」
SMILE UP!

Vol.40 **村中 李衣** さん
 MURANAKA RIE

それぞれの人生に喜びを持って「立ちあう」保育を

Q 児童文学の道に進んだきっかけは？

A 大学時代、地域の子どもたちに直接手渡せる読み物を自分たちで作ろうという地域のサークルの活動に参加していたのがきっかけです。当時は自分の拠って立つ場所が分からずにはいましたが、活動をしているうちに「自分の居場所はここかもしれない」と思うようになりました。

Q やりがいや喜びを感じるのはどんなとき？

A 私は出会った人たちのエピソードを基に自分が感じたことを物語に置き換えて書いています。書くことによって、漠然としていた自分の思いが段々と見えてきて、自分が見極めたいと思ったものが姿を現す瞬間に出会えるとすごく嬉しいです。生きていると感じます。

Q 書籍「立ちあう保育」にはどんな思いが？

A これは、単にこぐま保育園を紹介した本ではありません。教え導くという関係ではなく、子どもも大人も共に成長しあうという保育の原点について考えるきっかけにしてもらえたら。保育者も地域の人も保護者もみんなが喜び合って子どもを育てていくということが地域を育てることになると思います。

Q 今後の活動は？

A 山陽小野田市は保育に対して良い支援をしているし、みんなで喜び合える子育てを実現する土台作りができていると思います。特に市立図書館は、社会教育、学校教育、保育・幼稚園教育などを繋ぐ活動をたくさんされていて素晴らしい。この地域の良さは、一生懸命ここで生きている人が紡いできたものだと思うので、それを大事にしていくお手伝いをしたいです。

Profile・児童文学作家。山陽小野田市出身。ノートルダム清心女子大学教授を3月に退職し、4月～山口学芸大学客員教授。著書は児童文学に関する数々の賞を受賞。平成3年～毎月中央図書館で「児童文学わいわい講座」を開催。3月に本市のこぐま保育園を題材にした本『立ちあう保育 だから「こぐま」にいる』を共著により出版。(市立図書館で貸出できます)



▲「児童文学わいわい講座」



▲『立ちあう保育 だから「こぐま」にいる』

「みんなの笑顔」の写真を募集!



【応募方法】①写真(プリントしたものまたはデジタルデータ)②応募者の氏名(掲載はペンネームでも可)③作品名または15文字程度のコメント④応募者の連絡先(昼間連絡のとれる電話番号)

〒756-8601 山陽小野田市役所
 シティセールス課広報係(☎82-1148)



ペンネーム キーちゃん
 公園大好き



ペンネーム めるさん
 ぼかぼか陽気 花見気分て 笑顔咲く